佐賀大学教職大学院　広報誌

院生ライフレポート

2025年
第3号（6月）

教職大学院での学びが始まり、2か月が経過しました。授業では、グループワークやペア学習が積極的に取り入れられ、所属や立場を超えた議論が展開されています。

グループやペアによる発表準備は、授業時間だけではなく休み時間や放課後にも行われ、資料や文献をもとに活発な議論が交わされています。これまでの学びとの関連性を考慮しながら、発表内容を整理し、より理解しやすい形で資料を作成するプロセスを大切にしています。

この準備の過程では、ストマスは現職の豊富な経験を通して学校現場の実情を学び、現職はストマスの視点から新たな学びを広げています。こうした相互作用により、お互いに切磋琢磨しながら知識を深め、学び合う環境が教職大学院では自然と醸成されています。

前号に引き続き、教職大学院１年生前期の授業を紹介します。

水曜・2限「現代的な学力観と授業実践の基礎と課題」
（江島先生・米田先生）

この授業では、これからの社会をつくる子どもたちに育む「学力」をどのようにみるのか？
　→現代的な学力観とはどのようなものなのか。
その「学力」を学校でどのように育むのか？
　→「学力」を育むために具体的な授業実践とはどのようになるのか　、どのような授業をつくるのか。
という視点をもって、具体的な授業を作ることができるように学んでいます。

木曜・3限「子どもの学ぶ意欲の基礎と課題」
（井邑先生・平川先生）

学習意欲に関するグループ発表の準備について
私たちは、7 月 13 日から 4 回にわたり、「学習意欲」をテーマにしたグループ発表を行います。4 つのグループに分かれ、それぞれが学習意欲について疑問に感じることや、さらに深く知りたいことを探究しながら準備を進めています。現在、関連する文献を読み、発表に向けた情報収集と考察を進めている段階です。

木曜・5限「教科等における ICT 利活用の基礎と課題」
(後藤先生・米田先生・小松原先生・平川先生・平田先生)

佐賀県教育委員会事務局教育 DX 推進グループより2週に渡り講師をお招きし、「GIGA スクール構想と教育 DX」「ICT を活用した教育の推進に関する佐賀県教育委員会の取り組み」について学びました。より効果的な ICT 活用についての理解を深め、教育の DX に向けた自身の実践的指導力の向上を図りました。

編集者：G&K